

特定非営利活動に係る令和5年度事業計画（案）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

特定非営利活動法人ユーアイ自立支援の会

はじめに

特定非営利活動法人ユーアイ自立支援の会は、自らが掲げる理念に基づく方針及び関係法令を遵守し、組織理念の実現を目指して今後1年を取組む。

法人が運営する就労継続支援B型事業所「ユーアイ工房」においては、①適正な利用者数を確保することと②授産事業において作業収入を増加することにより確固とした財政基盤を確立することを重視して事業展開する。

組織理念（使命）

障がい者が人間らしく生きることを支え続け、共に歩む

定款（目的）

この法人は、障害児、障害者、高齢者及び社会的弱者に対して、環境保全のためのリサイクル活動、地域福祉活動や社会教育の推進を図る活動及び子どもの健全育成を図る活動を通して、就労、作業支援及び生活支援並びに関係団体のネットワーク作りに関する事業を行い、障害児、障害者、高齢者及び社会的弱者が地域社会へ参加することに寄与することを目的とする。

各部門の課題

《事業部門》

【障害者総合支援法に基づく事業】

（1）利用者支援の充実

ユーアイ工房においては高齢者及び作業能力が低い利用者が多いことから利用者の日中の居場所としての役割も意識し、利用者の様々な悩みや苦しみに耳を傾け共に解決を目指します。また、服薬管理や金銭管理、病院受診の支援を引き続き実施します。作業においては、利用者個々の作業能力や適性に合った技術指導を行います。

これらの取組によって利用者に満足感・達成感・生きがいを感じていただけるような事業所を目指します。

(2) 利用者工賃の向上

今後のユーアイ工房はリサイクル事業が主な作業となります。今年度の重点事項は、アルミ・スチール缶のプレス出荷、タイヤの解体、養殖網メンテナンス、貝殻粉末成作、その他養殖網関連の作業の増加により収益を向上させ、工賃月額平均2万円を目指します。

(3) 関係機関との連携

ピアリンク、就業・生活支援センターその他の関係事業所との積極的な連携・交流を図り、利用者支援の向上につなげます。

【社会参加啓発事業（授産事業）】

(1) 農産物生産販売事業

ビニールハウス9棟を有効活用し、パッションフルーツの栽培をメインにしながら花苗・野菜苗及び季節の露地野菜の栽培を行っていましたが、利用者の高齢化や職員の減少のため、直営による事業維持は困難と判断し、パッションフルーツ販売終了後8月末をめどに、直営による農産物生産販売事業を委託による事業に転換します。

(2) リサイクル事業

昨年度貝殻粉碎機導入により利用者の作業負担軽減と売上増加が達成されています。ただ作業環境はまだ未整備な部分があるため、労働安全衛生（職員・利用者の健康面）に留意しながら作業を進めます。

アルミ缶の販売収益はリサイクル事業全収益の約2/3を占めます。また、現在のアルミ相場はピーク時をやや下回っていますがまだ高い状態にあります。したがって収益増加のため新たな回収先を開拓する取り組みが必要です。

(3) 製品製造事業

今月より感染症法2類相当のコロナ対応が全国的に終了し、今後各種イベントが開催されます。小俣での作業づくりと販売等に向けた製品の生産が課題となっています。

(4) 芸術活動

障害者による芸術活動として絵画と書道に取り組んでいます。ただ書道は、講師の体調不良のため現在休止しています。絵画については今年度も毎週木曜日の午後1時間実施していきます。作業の合間に芸術活動をすることで、精神的に良い影響があることを期待して継続します。

《管理部門》

(1) 職員の資質向上

内外部の研修へ積極的に参加することを通じて、職員の知識・スキル・モラルの向上を図ります。現在、福祉系国家資格については、介護福祉士3名となっています。福祉専門職配置加算の増額にもなることから今後も資格取得助成制度によって自己啓発に努める職員を支援します。

外部研修事業者が実施する研修をネット配信により受講する取り組みを昨年から実施しています。基本的な知識・スキルを習得するため今年度も実施します。

(2) 安全管理

利用者の高齢化もあって、毎年転倒事故が発生しています。全職員が救急対応できること及び日常のヒヤリハット等の情報を共有化し事故防止に努めることを重点課題とします。

(3) 職員の処遇改善と人材育成

給与制度と人事制度を活用し、人材育成に努めます。

(4) 透明な運営の確保

課題に応じて職員会議を随時開催し、双方向からの意見交換を図ることによって、風通しのいい事業所運営を確保します。

以上